

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	千葉市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防災及び生活衛生面で問題のある密集市街地やスプロール化が進行しつつある市街地の安全性及び生活環境等の改善を図り、安心して暮らせる市街地の整備を進める。 ・土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、市の玄関口に位置するJR千葉駅前にふさわしい市街地を実現する。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	11,373	A	11,373	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初・H29当初		H30末
1	公共施設が整備され、生活環境の改善が図られた宅地の整備率を41.3%から46.3%に向上させる。 宅地の整備率（使用収益の開始率） 宅地の整備率 = （使用収益の開始面積／計画宅地面積）×100	41%	%	46%
2	JR千葉駅前にて整備する施設建築物周辺の放置自転車台数を67（台/時間）から20（台/時間）に減少させる。 JR千葉駅前にて整備する施設建築物周辺の放置自転車の1日における1時間ごとの最大台数（台/時間）を集計する。	67台/時間	台/時間	20台/時間

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
当初現況値は、1はH26当初、2はH29当初												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	区画	改築	検見川稲毛地区（検見川町花園町線外）	区画整理 68.0ha	千葉県		■	■	■	■	631	—	
	A01-002	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	区画	改築	検見川稲毛地区（検見川町花園町線外）	区画整理 68.0ha	千葉県		■	■	■	■	224	—	
	A01-003	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	区画	改築	寒川第一地区（港町寒川町線外）	区画整理 17.7ha	千葉県		■	■	■	■	2,304	—	
	A01-004	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	区画	改築	寒川第一地区（港町寒川町線外）	区画整理 17.7ha	千葉県		■	■	■	■	1,136	—	
	A01-005	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	区画	改築	東幕張地区（幕張本郷松波線外）	区画整理 26.1ha	千葉県		■	■	■	■	2,819	—	
												小計						7,114	
	市街地整備事業	A13-006	市街地	一般	千葉県	直接	千葉県	—	—	検見川稲毛地区	区画整理 68.0ha	千葉県		■	■	■	■	902	—

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-007	市街地	一般	千葉市	直接	千葉市	—	—	寒川第一地区	区画整理 17.7ha	千葉市		■	■	■	■	162		—	
	A13-008	市街地	一般	千葉市	直接	千葉市	—	—	東幕張地区	区画整理 26.1ha	千葉市		■	■	■	■	2,308		—	
	A13-009	市街地	一般	千葉市	直接	千葉市	—	—	千葉駅西口地区第二種市街地再開発事業	再開発事業区域面積約1.9ha	千葉市					■	200	1.03	—	
											小計						3,572			
住環境整備事業	A16-010	住宅	一般	千葉市	間接	千葉駅東口地区市街地再開発組合	—	—	千葉駅東口地区第一種市街地再開発事業	再開発事業区域面積約1.0ha	千葉市					■	■	687		—
											小計						687			
											合計						11,373			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	各要素事業の所管において指標の目標値に対する達成状況を確認し、計画全体の評価を行ったうえで市民に公表する。公表期間は2週間とし、意見があった場合は市から回答する。	事後評価の実施時期	令和2年12月
		公表の方法	市街地整備課窓口及びホームページでの公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設が整備され、生活環境の改善が図られた宅地の整備率が向上した。 ・JR千葉駅前において、市の玄関口にふさわしい市街地の整備が進み、放置自転車台数が減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

千葉県では本計画の次期計画として、平成31年度から令和5年度を計画期間として「安全で快適な暮らしを支えるまちづくり（第2期）」を策定しました。安全で快適に暮らすことができる市街地のさらなる実現のため、今後も事業を推進していきます。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	46%
	最終実績値	49%
2	最終目標値	20台/時間
	最終実績値	3台/時間